

所在地：夷隅郡岬町中原字池田 3700-7 他

施主：志方 俊夫

設計：アーキテクトファイブ 堀越英嗣+松岡拓公雄+川村純一+城戸崎博孝

施工：(株)屋代工務店

景観に配慮した建築物

しかた
志方 邸



撮影：冨田 治

房総半島の東端に位置する気候温暖な丘陵地に建つ住宅で、美しい風景に溶け込むように、敷地の緩やかな曲線に呼応した棟にむくりのあるシンプルな大屋根と、水平線を強調した深い軒の出が印象的である。

南面する居間は木製デッキを介して芝庭とほぼ同じレベルで繋がり、北側の食堂も同様に中庭と一体となって、家の中を南北に空気が抜けるように配慮している。

居間と食堂を仕切るルーバーは冷暖房用のラジエーターで、輻射熱暖房によって真冬でも南北の開口部を解放した状態での生活が可能となっている。

東側に設けた朝日を浴びる朝食室、西側の夕焼けを楽しみながら入浴できる浴室など、自然との共生を求める施主の希望がすべて実現して満足の様子であった。

自然を愛し、趣味を楽しみながら晩年を過ごすため



撮影：冨田 治

の適地を自ら探し求め、理想の住まいを追求する施主の情熱と、それに共感した設計者の感性、創造力とが見事に結晶した秀作である。特に、構造、設備、意匠面が有機的に関連づけられて、“ゆるやかに共生した”人と自然に優しい居住空間をつくりあげている。

3,000㎡を越す敷地面積に建つ住宅が果して文化賞の対象になり得るかとの議論もあったが、建築の質の高さと景観形成への取組が高く評価されたものである。

(明智克夫)